

◆学習方法のポイント

- 「政治・経済」は「公共」の学習のうえに成り立つ科目ですので、学習全体を通して「公共」との関連を図ります。これらの学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざします。
- 日ごろからメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち、調べたり論点を見いだしたりすることに努める
- 客観的な資料にもとづいて、諸課題を考察し、解決のあり方を模索する態度を身につけること。
- 予習・復習を必ずするようにしましょう。特に教科書をよく読むようにしましょう。
- 興味を持って、授業に取り組むようにしましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
 - ア 現代社会をとらえる視点や枠組み、基本的な概念や理論の理解を図ります。
 - イ 一斉授業、グループ学習、発表などの学習活動を行い、物事を多面的・多角的に考察し、公正に判断する。
 - ウ 資料から適切な情報を選択し、課題を追究する活動、レポートにまとめたり発表したりする活動などを行い、方法や社会の在り方などを構想する力を身につけます。
- 現代の諸課題を探究する際のレポートを評価のための資料とします。
- 課題の設定・追究、まとめの学習を行う際には、教科書の「探究のスキル」などを参考にしてください。
- ワークブックを用いて復習を行います。
- 授業開始の1分前には着席をして、教科書・ノート等の授業準備をするように習慣づけてください。
- 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。
- 常に「なぜ？」という問題意識を持ち、探求的な態度で取り組みましょう。

【家庭学習】

- 学習内容の振り返りを行う際には、教科書の節末にある「節のまとめ」や「節の課題に取り組もう」などを参考し→普段から、テレビ・新聞記事・インターネットなどを見て、社会情勢に興味を持つことも大切です。

【定期考査】

- 教科書・ノートを読み直し、授業内容を確認しましょう。
- 各学期の定期考査では、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価しま

◆評価の方法、規準

評価の方法	ア 年5回実施の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における知識と資料活用の技能の習得状況、思考・判断・表現を評価します。 イ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。 ウ 日頃の学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。 エ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。
1 学期	中間考査、期末考査(①、②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②、③の観点から評価します。)
2 学期	中間考査、期末考査(①、②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②、③の観点から評価します。)
3 学期	学年末考査(①、②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②、③の観点から評価します。)